

2024 年度 事業報告

施設名 ガーデンエル

施設長名 六川徳子

種 別	乳児院		
設 立	2010 年	4 月	1 日
認 可	2010 年	4 月	1 日

*2024 年度事業計画に対する評価

- ・大阪府では里親支援機関 B 型の活動を継続することとなったため、エルもロイと協力し、新規里親開拓のための広報活動、地域の里親会や MY 里親 14 家庭への支援を継続できた。
- ・年度当初、一歳以上は措置と一時保護でユニットを別けて設定をした。一時保護が長期になり、年度途中からは全ホームに一時保護と措置の児童が混在した。一時保護児童の入退所で、前年度に比べて措置児童が不安定になることが増えていた。一時保護の受け入れ方について、一時保護ユニットを継続するかも含めて検討する。
- ・職員体制が整わなかったこともあり、入所依頼に十分に應えることが出来なかった。依頼の多い乳児にどう応えていくかが課題である。
- ・月 1 回のスーパーバイズは定着しつつある。これまで支持的な内容が中心だったが、共有事項に対して意見を出す場としての活用もできつつある。
- ・インフルエンザや RS ウィルス、手足口病、胃腸炎に加え、初めてアデノ結膜炎が流行した。職員を分ける等、感染拡大防止に努めたが、職員にも感染が広がり、終息までに時間を要した。また、発熱、下痢、嘔吐時の水分摂取、消毒など基本的な対策を見直しながら周知した。
- ・東大阪市のショートステイ利用の申し込みに対して、入所枠内で可能な限り受け入れを行った。
- ・暫定定数が 3 年間続いたことから、定員改定について大阪府と協議し、2025 年度から定員が 24 名となった。
- ・大規模修繕については、補助金が給付されることとなり、計画通り実施することができたことで、子ども達にとって安全で心地よい場所となった。

1. 事業運営の概況

認可定員	ひよこ(乳児)	たんぽぽ	ちゅうりっぷ	ひまわり	さくら
30 名	6	6	6	6	6

2. 保育実績

① 在籍児数（各月 1 日在籍数：措置児童のみ）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0 才児	2	1	1	2	2	2	2	2	6	6	8	8	42
1 才児	6	6	5	5	5	5	4	5	6	6	6	6	65
2 才児	3	3	3	4	4	4	2	1	1	1	1	0	27
3 才児	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	6
5 才児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置児合計	12	11	9	11	11	11	8	8	14	14	16	15	140

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
一時保護	5	4	4	6	6	7	7	9	4	5	4	4	65
ショート(含里子)	1	8	3	1	1	0	1	2	1	3	2	1	24

〈結果と考察〉

- ・一時保護依頼の 60% が 0 歳児の依頼であった。乳児ホームの定員もあり、全ての依頼に応えることが出来なかった。
- ・一時保護から措置になった児童が 8 名、措置で入所した児童は 4 名であった。
- ・職員体制が整わなかったことから 4 ホームでの運営となり、暫定での充足率は 66.7%（定員では 60%）であった。

② 職員構成（年度末時点、上段に実数、下段に最低基準を記入）

職 種	施設長	児童指導員 看護師 保育士	事務	家庭支援専門相談員	個別対応職員	基幹的職員	栄養士	調理員等	嘱託医	心理療法担当職員	里親支援専門相談員	指導員特別加算	小規模グループケア加算	その他	合計
実数	1	20	2	2	1	1	2	3	1	1	1	1	6	9	50
定数	1	20	1	1	1	1	1	4	1	0	0	1	0	0	33
〈結果と考察〉 ・体調不良等の休職、産休などもあり、日勤や夕方の非常勤を配置して対応したが、余裕のある体制を作ることが難しかった。															

3. 園児の処遇実績

イ) 健康管理

定期健康診断	測定・検査など
嘱託小児科医による健康診断を年2回実施。 母子保健法に基づく健診 （東保健センター）4カ月、一歳半、三歳半 （嘱託医）後期	身体測定：0歳月2回、1歳以上月1回実施。（特例あり） 予防接種：嘱託医の協力のもと、公費負担の無い種類も含め 月齢に応じ計画的に実施。

ロ) 栄養管理（食事・おやつ取り組み）

- ・大阪いずみ市民生協から安全安心な食材の購入を心掛けている。
- ・おやつは、手作りを重視して、季節感のあるものを提供している。
- ・近隣の方より、野菜や果物などの寄贈があり、食事として提供している。

《離乳食》

- ・離乳食は個別のトレーで、名札を付けて提供している。
- ・ミルク量と離乳食の進め方を作成し、ホーム職員と知識、情報を共有しながら進めた。
- ・離乳食の進み方は個人差が大きいので、個々に離乳食進行表を作成している。
- ・魚、豆腐、卵等の提供の初めにはアレルギーの起因となることも多いため、特に卵や小麦に関しては、提供から48時間の体調スコアリングを行い、問題がなければ次の段階へ進める連絡体制をとっている。
- ・厨房職員は離乳食の食べ方や大きさ、固さ、粘度などを確認出来るようにホームに入り、喫食状態を確認している。

《アレルギー対応》

- ・アレルギー除去食では、献立に除去食品をマーカーでチェックした専用の献立表と写真入りの個人票を作成。個人票と一緒に食事を提供し、照らし合わせて職員に伝えている。食器を変えてアレルギー対応食とわかりやすくしている。

《病児への対応》

- ・子どもの体調不良時は、体調に合わせて、病児食事（おじや、うどん、消化に良い食事）を提供している。
- ・感染症が蔓延した際は、献立の変更を行い、十分な栄養の確保を目指した。

《備蓄》

- ・炊出し訓練や備蓄食材の入替時に、子どもも職員も試食し、より食べやすいものを備蓄するよう見直した。
- ・食材ロスを減らす観点から、備蓄食材をローリングストックに切り替えた。
- ・水はエルロイの大人子ども合わせて80名×1日3リットル×6日分で備蓄できるようにした。

《食育》

- ・月1回実施、季節感のあるものを取り入れる、また、エルで栽培したものを使用するよう計画した。

ハ) 年間行事

<p><行事の取り組み方></p> <p>ガーデンエルは各ホーム6名の小規模グループケアであり、一般の入所施設であるような運動会や遠足等全体行事を実施していない。ホーム単位による、家庭的な日々の取り組みに努めている。</p>
<p><結果と考察></p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の活動で、近隣への散歩だけでなく、商店街、ショッピングモールへの買い物等へ出かける等、社会経験の機会を持つことが出来た。 お誕生日のお祝いはホームでのお誕生日会に加え、半日の個別外出ができています。 助成金を受け、七五三の記念写真を写真館で撮る体験もできた。 秋にはホームごとで、半日の外出を実施した。

ニ) 安全管理

火 災・地 震	火災、及び地震から火災の想定で、毎月、避難訓練を実施。ロイとの合同訓練を2回、全体消防訓練を消防署の協力の下、11月に実施した。
救急救命	指導資格を持った看護師による救急救命講座3（乳幼児対象）を4人ずつ順に受講した。
防 犯	不審者対応訓練は警察署協力の元、10月10日に実施。
衛 生	感染症予防のための手指消毒の徹底、日々の消毒を見直しながら実施した。

ホ) 賠償保険等の加入状況（利用者対象）

保険種別	会社・団体名	補償内容（金額）
施設賠償責任保険	共栄火災海上保険㈱	対人2億円

4. 職員処遇の実績

イ) 職員の健康管理

- ・定期健康診断 年2回、検診内容（胸部X線、血圧、尿、心電図、問診、血液検査他）
- ・検便 栄養士 年24回、調理員 年24回、保育士・指導員・看護師 年12回
- ・インフルエンザ予防接種

ロ) 労務管理

- ・就業規則の改訂（試用期間・人事異動・欠勤について本部指示に基づく変更）
- ・給与退職金規定の改訂（夜勤宿直手当の見直し、基本給の見直し）
- ・育児・介護休業等に関する規則の改訂

ハ) 職員会議（高齢除く）

内 容	実施回数（開催時間）
主任会	月1回
ユニットリーダー会議	月1回 13-16時
エル会議（職員会議）	月1回 13-14時30分
危機管理委員会（防災、防犯、訓練の実施等に関して）	月1回 13-14時
保健衛生会議（保健衛生、医療面全般）	月1回 13-14時
共有会議（ケース情報の共有、不足情報の確認）	月1回 14-15時
各ホーム会議（子どものこと、ホーム全般について）	月1回 13-15時
ごちそう会議（食事おやつ、栄養面全般）	月1回 13-14時
ケース会議（支援計画作成を含む）	随時
子どものための委員会（支援上の課題共有、解決）	月1回 1時間
エルロイ里親支援会議（里親支援機関B型の運営に関して）	月1回 10-11時

ニ) 研修実績（イエス団含む）

No	研修名	主催者	研修内容	開催 年月日	参加人数 (職種)
1	サービスマナー（新人）	大阪府社会福祉協議会	社会人、組織人としての心構え	4/15	1 (保育士)

2	児童施設課程基礎Ⅰ	大阪府社会福祉協議会	児童福祉の現状、施設職員としてのあり方	5/16. 17	1 (保育士)
3	キャリアパス対応生涯中堅研修	大阪府社会福祉協議会	福祉サービスの基本理念。中堅職員の役割行動。人権を考える	6/7. 14. 18	1 (保育士)
4	乳児院合同アウトリーチ研修	大阪府社会福祉協議会	「安心感の輪」子育てプログラム	6/17. 7/25 8/22. 9/19 10/17 11/14	2 (保育士)
5	ブラッシュアップ研修	イエス団	今の自分を見つめ、これからの課題を探る。	6/14. 15	1 (保育士)
6	近畿乳児福祉協議会	近畿乳児福祉協議会	「明日を担う子どもと家族」その支援やアドボケートのありかたについて	6/27. 28	3 (施設長 保育士 調理師)
7	日本遊戯療法学会	日本遊戯療法	プレイセラピーのトレーニング	6/30	1 (心理士)
8	全国児童養護問題研修会	全国児童養護問題研究会	子どもの権利としての社会的養護を実現するには	6/30	1 (里親支援)
9	全国乳児院研修会	全国乳児福祉協議会	各施設の取り組みを共有し乳児院職員としての専門性を向上させることを目的とする	7/11. 12	3 (保育士 家庭支援 調理師)
10	子どもの健口に大切なこと	大阪府社会福祉協議会	お口の機能不全について	7/11	1 (看護師)
11	東大阪市集団給食研修会(全2回)	東大阪市	給食施設における献立作成の基本～事例を交えて～	7/22. 8/21	1 (栄養士)
12	東大阪市コミュニティーソーシャルワーカー研修会	大阪府社会福祉協議会	小山先生に学ぶ 複合多問題ケースの対応について	8/19	1 (家庭支援)
13	施設心理士ケース検討会		見立てが難しい子どもの発達について理解を深め、今後の支援に生かす	9/18	1 (心理士)
14	基幹的職員研修会	大阪府、堺市、大阪市	社会的養護の担い手となる人材及び専門性を確保する	10/2. 28 11/25	1 (保育士)
15	全国乳児院協議会	全国乳児院協議会	乳児院の変化と伝統～守るべきものとかえていくもの～	10/10. 11	1 (施設長)
16	全国里親会	全国里親会	広がれ里親の輪、応援します子どもの育ち	10/12. 13	1 (里親支援)
17	こころの臨床・専門講座3	明治安田こころの健康財団	対人援助職とアサーションWS	10/19. 20	1 (心理士)
18	CRC アタッチメント研修	チャイルドリソースセンター	支援に生かすアタッチメントの視点を学ぶ	10/28	1 (家庭支援)
19	メンタルヘルス研修	大阪府社会福祉協議会	自分も相手も大切にするコミュニケーション	10/29	1 (保育士)
20	児童養護課程基礎研修Ⅱ	大阪府社会福祉協議会	私のキャリアと中堅職員としての役割	10/30	1 (保育士)
21	階層別人権研修	大阪府社会福祉協議会	人権	11/1-11/21	1 (保育士)

22	社会的養護を担う 児童福祉施設長研修	全国社会福 祉協議会	施設長に求められる役割等につ いて研修、専門性の向上を図る	11/8	1 (施設長)
23	イエス団新任職員 フォローアップ研修	イエス団	フォローアップ	11/16	1 (保育士)
24	近畿乳児福祉協議会 職種別 研修会（栄養士部会）	近畿乳児福 祉協議会	うま味を乳児の食に生かす試み	11/21	1 (栄養士)
25	近畿乳児福祉協議会 職種別 研修会（保育士部会）	近畿乳児福 祉協議会	チーム支援、マネジメントと人 材育成	11/28	1 (保育士)
26	近畿乳児福祉協議会 職種別 研修会(家庭支援・里親支援・ 心理職)	近畿乳児福 祉協議会	子どもを取り巻く「関係性」に ヒントあり～システムズアプ ローチについて知ろう～	12/18	1 (心理士)
27	フォスタリングチェンジ プログラム	日本福祉大 学	スペシャルフォーラム	1/14	1 (里親支 援)
28	職種別研究会(看護師)	近畿乳児福 祉協議会	乳児院において効果的な支援を 行うための知識や技術を等獲得 し、専門性の向上を目指す。	1/16	1 (看護師)
29	イエス団ブラッシュアップ	イエス団	6月の研修の振り返り	1/18	1 (保育士)
30	発達障害を知っていますか	大阪府社会 福祉協議会	もし自分がその立場だったら	2/6	1 (指導員)
31	DoReMi ファシリテーター 養成講座	チャイルド リソースセ ンター	子どもを養育する時に必要なア タッチメントの視点を学ぶ	2/14, 15	1 (施設長)
32	地域福祉ネットワーク推進会 議	地域福祉ネ ットワーク 推進会	事例検討会、顔の見える関係作 りを深めよう	2/18	1 (家庭支 援)
33	乳児院上級職員セミナー	全国社会福 祉協議会	専門知識等の習得やチームリー ダーとしての資質向上を目指す	2/26-27	1 (保育士)
34	乳児院医療看護セミナー	全国社会福 祉協議会	乳児院養育・支援に特化した医 療・看護の専門性の向上を図る	2/28	1 (保育士)
35	調理員研修会	東大阪市集 団給食研修 会	子どもの食を考える～保育園、 こども園における食支援のポイ ント～	3/6	1 (調理員)
36	FLEC フォーラム	全国家庭養 護推進ネッ トワーク	家庭養護の推進子ども子育て支 援施策の包括化に向けて	3/14-16	1 (施設長)
37	イエス団新人研修	イエス団	イエス団の理念を理解し、職員 としての使命を考える。	3/24-25	4 (保育士)
<結果と考察> ・毎年参加している研修には参加できている。 ・研修報告の場を作り、研修内容を共有できるようにしている。					

ホ) 福利厚生<退職共済制度(機構・府県・市)、福利厚生制度等>

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度(福祉医療機構)
- ・大阪民間社会福祉事業従事者共済会

5. 子育て支援・地域との交流の報告

- ・リサイクルや清掃委託で、近隣の障害者施設と連携している。
- ・東大阪市のショートステイ事業で、子育て支援として、定期的な利用も含めて地域の子どもを受け入れている。
- ・里親支援専門相談員を中心に、地域の里親会を支援している。里親広報活動を東大阪市政府所やアリオ八尾での里親説明会を実施。また映画上映による広報活動も行った。

- ・サマーボランティア、抱っこボランティア等々様々なボランティアを受け入れている。定期的な活動もあり、職員、子ども達ともに良い刺激となっている。
- ・東大阪市東地区地域福祉ネットワーク推進会議に参加することができた。

6. 施設・設備の整備の実績(項目、金額、実施月等、10 万円以上記載)

整備の名称	金額	勘定科目	財源	実施月
生垣植替え工事	220,000			5 月
誘導灯入替工事	475,024			5 月
目隠しルーバー	154,000 円	器具及び備品支出	措置費	8 月
エアコン取替工事	363,400 円	器具及び備品支出	措置費	8 月
給湯機取替工事	221,000 円	器具及び備品支出	措置費	12 月
さくらトイレ改修工事	990,000 円	修繕費	措置費	3 月
大規模修繕 (外壁塗装・防水・クロス貼替等)	25,915,685 円	修繕費	施設整備補助金 その他の特定積立金	3 月
事務室エアコン	1,099,119 円	器具及び備品支出	施設整備補助金 その他の特定積立金	3 月
アッタ館エアコン	485,409 円	器具及び備品支出	施設整備補助金 その他の特定積立金	3 月
アルミサッシ窓取付	3,085,835 円	建物取得支出	施設整備補助金 その他の特定積立金	3 月
キュービクル開閉器交換	1,259,252 円	建物取得支出	施設整備補助金 その他の特定積立金	3 月

7. 会計決算の状況

- ・コロナ禍の特例措置により、暫定定員 27 名で運営することができました。
- ・2,900 万円を人件費積立金として、4,400 万円を施設整備としてその他の特定積立金に積立ができました。
- ・ハンナの売却に伴い、固定資産売却収入が 1,800 万円ありました。
- ・大規模修繕に伴い、国・大阪府より 2,145 万円の補助金の交付を受けました。
- ・独立行政法人福祉医療機構からの借入金を全額返還しました。

8. その他

- ・特になし。